



選手激励会

コロナに打ち勝つ三年生

教頭 大久保孝治

「ありがとうございます！」

女子バスケットボール部主将の爽やかな声の中総アリーナに響き、本校の市長杯が幕を閉じた。優勝を目標としていたが、準決勝で敗れてしまった直後の一場面である。

コロナ対策のため、三位のチームは試合直後に表彰式が行われた。敗退と引退が現実となり、涙を流しながら整列する選手たち。「第三位」という結果は、本意ではないであらう。しかし、そのような感情を微塵も感じさせない感謝の言葉が彼女から発せられた。「結果」ではなく「違う何か」に価値を見出していることを感じ取ることができた。

三か月間もの間、部活動を行えず、当番校であった五月の「総体」も中止となる異常事態。このような経験をした先輩は、岡崎市を何十年さかのぼっても皆無である。

激励会では、教室で映像でしか見ることができない後輩たちに向け、全力で決意を述べる各部主将。

「僕たちのために大会を行っても、えらぶことに感謝して・・・」

多くの当たり前が、当たり前でなくなつた激動の数か月。そんな中でも、三年生は立派な姿で引退していった。その姿や心は、必ず後輩たちに継承されることだろう。

「悔しいけど、納得がいかないけど、仕方がない」と、気持ちを切りかえて正しい方向を向く生徒たちは、我々の自慢の生徒たちである。

部活動を終えて

部活動を終えて

男子陸上部主将

時原 仁

「この仲間と陸上ができてよかった」これが僕の素直な思いだ。

思い返せば、陸上部の練習は苦しいことばかりだったかも知れない。だが、その分、記録が伸びたときの喜びや達成感、思うような記録が出せなかったときの悔しさ、今までみんなと声をかけ合って練習してきた日々には、とてつもない価値があると思う。

この陸上部で、僕は多くのことを学び成長できた。そんな陸上部にとっても感謝している。

この思いを

女子陸上部主将

八田 伶奈

「女子総合優勝、六ツ美北中学校」私たちの努力がこの一言で報われたような気がした。諦めかけていた「優勝」を前に、この上ない喜びを感じ、最高の思い出となった。

今までの練習で、楽しさや悔しさ、人として成長できる挨拶や礼儀は、先輩方から受け継いだ良き伝統だ。今回の優勝も、四連覇という伝統を残すことができた。

部活動を通して学んできたさまざまな思いを学校生活で

も生かし、活躍できるように頑張りたい。後輩にも新たな伝統を受け継いでほしい、上を目指して頑張ってほしい。



すべての人に感謝

男子バスケットボール部主将

白井 世那

二年半の部活動で、いろいろなことを学びました。その中でも一番に感じたことは「感謝」です。

今まで一緒に練習してきた仲間たち、休みの日でも一生懸命指導してくださった顧問の先生、練習試合の送り迎えなど、いろいろなお世話になった両親など、多くの人に支えられて今があると思えます。

今まで関わってきたすべての人に感謝をしたいです。そし

て、これからも感謝の気持ちを忘れないようにしたいと思います。

二年半の集大成

女子バスケットボール部主将

太田 美晴

目標を達成することができなかった市長杯。それでも私たちのすごくいい思い出になりました。準決勝では、最初から最後まで全員が声を出し続け励まし合いました。試合終了後、私たち全員が「やり切った。悔いはない」と思えるような、今までで一番楽しいと思える試合でした。

部活動を通して、どんなに忙しい時でも励まし合い、全員で乗り切れるようになりましなりました。たたくさんの失敗から、たたくさんのことを学ぶことができたすてきな二年半になりました。



この三年間で学んだこと

男子バレーボール部主将

天野 翔太

僕は、この部活動を通して、どんなにつらいことも楽しむ気持ちと、支えてくれる人達への感謝の気持ちが大切だと思

いました。

この三年間は、決して楽なものではありませんでしたが、仲間とボールをつないで、いいプレーができた瞬間は、素直に「やっていてよかった」と思うことができました。また、最後まで支え続けてくれた家族、先生や仲間には、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。最後まで僕たちを成長させてくれたこの部活動を引退するのは悲しいですが、ここで学んだことを忘れず、これからも頑張ります。



この仲間と過ごした日

女子バレーボール部主将

萩原 史結

「楽しくやりたい。」

そう思って始まった私たちの代。最初は、「先輩方には届かない」、「まともに試合ができるのか」など、不安ばかりだった。けれど、チームがまとまっていくにつれ、一人一人が「勝ちたい」という気持ちに変わっていった。そこから、このチー

ムで勝つためにたくさんのごみを考えるようになった。ついに市長杯。一緒に行けなかった一、二年生の思いを胸に挑んだが、結果は完敗だった。悔しかったが、この仲間と過ごせたことは忘れられない思い出となった。

部活動での感謝
男子ソフトテニス部主将

池本 雅悠

市長杯で初戦負けし、部活動が終わってしまいました。しかし、楽しかったという気持ちが一番強かったです。なぜなら、全員で声を出し、努力し励み合ったからです。後輩も会場に来ることができないのに、ずっと応援してくれました。

僕たちがテニスをする事ができたのは、先生、親、後輩、そして仲間のおかげです。今まで支えてくれた人にはとても感謝しています。三年間ありがとうございました。一、二年生、頑張れ！



私の居場所

女子ソフトテニス部主将

井本 来夢

私たちの学年の女子テニス部は、四人しかいませんでした。少人数ということもあり、キャプテンとしてまとめることなど簡単だと思っていました。しかし、四人だからこそ、考えがまとまりませんでした。人の意見をまとめたり、人前で自分の意見を話したりすることが今まででなかったため、キャプテンとしての仕事は私にとつて貴重な経験になりました。私を成長させてくれた部活動。後輩とも仲のよい、私が思っていた部活動をつくってくれてありがとう。

二年間を振り返って

男子卓球部主将

鈴木 亜門

僕たちはよく意見の食い違いで言い争うなど、先生にたくさん迷惑をかけてきた。そんな仲間でも、励まし合い、教え合い、努力して高め合うことができた。

市長杯、僕たちは初戦敗退という悔しい結果で終わった。だが、よく頑張ったと声をかけ合い、笑顔で終わることができた。仲間についてきてもらうのは難しいことだけど、ついてきてくれたときの嬉しさは言葉に表せられないものだ。そんな経験を与えてくれたすべての人たちに感謝をしたい。

部活への思い

女子卓球部主将

田中 麻耶

私達は、市長杯に向けて部活動に全力で取り組み、毎日の練習時間を少しでも惜しみながらやってきました。大会の一週間前ぐらいに少しもめてしまったこともありましたが、それでも全員がお互いを高め合い、尊重し、大会当日には団結して心が一つになりました。惜しくも勝つことはできなかつたけれど、女子卓球部として、当たり前前のことは当たり前前に、整頓や準備・片付けの速さ、声出しや応援に全力で取り組む姿など、私はすごく誇りに思います。



前へ進む

男子剣道部主将

山内 雅也

今回、コロナの影響でこのような形で終わってしまいました。このような状況でも、大会ができたことは嬉しく思います。しかし、「西三大会に行き

たかった」二か月間しつかり部活をしてもつとよい状態で試合に臨みたかった」そのような気持ちがあります。でも、終わってしまったことは仕方ありません。自分たちはまだ中学生ですし、まだ高校があります。

部活動では、たくさんの方のサポートを学びました。その学んだことを忘れず、次に進んでいきたいです。



新しい目標に向かって

女子剣道部主将

坂本 陽香り

最後の大会に向けて、暑い中、仲間とともにラストスパートをかけて練習していた日々を懐かしく思います。帰りの挨拶が終わると同時に、かばんを持って全力で武道場まで走っていたことはとてもいい思い出です。その時は、部活動に燃えていて「入賞したい」という強い思いで取り組んでいました。しかし、引退した直後は目標がなくなってしまう、終わってしまった部活動のことばかり考えていました。

今は新しい目標に向かって

走り始めています。部活動で学んだ諦めない気持ち大切に、これからも走り続けます。

「感謝」

軟式野球部主将

河野 琉成

キャプテンをやって一番良かったことは、自分を変えることができたことです。キャプテンをやることで、仲間に指示を出せるようになったり、仲間より挨拶を意識したり、いろいろな場面で活躍できるようにしました。僕をキャプテンにしてくれた先生方、仲間たち、たくさんものをくださった、ありがとうございました。そして、野球部で得たすべてのものを胸の中にしまし、六ツ美北野球部主将の看板を背負いながら新たなステージへと堂々と生きていきます。



何をやるか

サッカー部主将

杉本 欧介

僕は、サッカー部でたくさんのことを学んだ。サッカー部としての二十七か月間、試合で負けることも、辛いこともたくさん

あった。それでも、このチーム、仲間とサッカーができたこと。辛いことも乗り越えたこと。人として成長できたこと。それが何よりも喜ばしいことである。もちろん、各競技のことを学ぶことも大切であるが、人として何を学ぶかが部活動の本当の意味だと思ふ。部活動では、嬉しいことも辛いこともあるけれど、人として何かをつかめる部活動にしてほしい。



感謝

男子水泳部主将

西田 健太

部活動を終えて、僕は達成感がすごくあります。何より、最後のフリーリレーで賞状をもらえたことがとても嬉しいです。僕の前に泳いだ三人が、僕に少しでも気楽に泳げるよう一位をキープしてくれたおかげです。

これまで支えてくださった先生方や応援してくれた仲間感謝しています。酒井先生をはじめとする水泳部顧問の先生方には、この二年半、本当に世話になりました。今まで応援ありがとうございました。

感謝の気持ちを込めて

女子水泳部主将

平石 心愛

先輩方が引退してから、私たちは自分たちの思うように結果を出せていませんでした。でも、一人一人が練習に向き合い、全員で声出しをするなど、チーム全体で苦しい練習を乗り越え、チームのために努力したり、当たり前前のことをし続けたりする大切さを知りました。

市長杯の結果は、女子総合三位。この結果は、個人の努力の成果もありですが、応援してくださったいろいろな方のおかげでもあります。今ままで本当に応援ありがとうございました。



市長杯の結果

団体

- 女子陸上部 優勝
- 男子陸上部 準優勝
- 男子剣道部 準優勝
- 女子水泳部 第三位
- 女子バスケットボール部 第三位
- 女子剣道部 第三位

個人

- ★男子陸上部 相地一夢 優勝
- ☆三〇〇m (大会新記録)
- ☆棒高跳 時原 仁 優勝
- ☆四×一〇〇mR 石川、時原、西口、内村
- ☆走高跳 西口 温 二位
- ☆八〇〇m 西脇希海 三位
- ★女子陸上部 小嶋聖来 優勝
- ☆八〇〇m (大会新記録)
- ☆走高跳 小林真綾 優勝
- ☆走幅跳 平岩 穂 二位
- ☆二〇〇m 兵藤広奈 三位
- ☆八〇〇m 鈴木愛菜 三位
- ★男子水泳部 五十嵐誉 優勝
- ☆五〇m背泳ぎ
- ☆二〇〇m個人メドレー 岩村航佑 優勝
- ☆四×一〇〇mリレー 岩村・両星・五十嵐・西田 二位
- ★女子水泳部 矢島ゆら 優勝
- ☆一〇〇m自由形
- ☆五〇mバタフライ 野中真帆 優勝
- ☆二〇〇m個人メドレー 内山遥陽 優勝
- ☆四×一〇〇mリレー 内山・野中・矢島・平石 三位

七月豪雨災害義援金

日本赤十字社

義援金

一五〇、〇七〇円

ご協力ありがとうございました。